

倉橋節也教授「人流と感染変化率との関係（東京都）」

11月19日

仲田泰祐

背景

何故、人流増加にも関わらず8月後半から急速に感染減少？

- 「東京での感染減少の要因：定量分析」ではワクチンだけでは減少のタイミングと急速さを説明できないという結果
 - 他の要因の重要性を分析
- 「ワクチンだけでは説明できない」は8月前半の内閣府 AI-Sim チームの分析とも整合性
 - 例外：平田モデル（8月15日）
 - ただし平田モデルも7月後半時点では、8月後半からの感染減少は予見できていない事には留意
- 本当に「人流・ワクチン」の二つだけでは感染の増減は予見できなかったのか？
- 本日：倉橋モデルを通して、8月以降の感染推移における人流・ワクチンの影響の理解を深める

倉橋先生

- コロナ危機以前から感染シミュレーションの研究（エボラ出血熱・ジカ熱等）
- <https://www.covid19-ai.jp/ja-jp/researcher/setsuya-kurahashi/>
- <http://www.u.tsukuba.ac.jp/~kurahashi.setsuya.gf/workingpaper.html>

参考情報

8月3日（倉橋研究室—AI-Sim）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制が必要
- 疫学モデル（SEIR）
- 人流データ・ワクチン接種考慮

8月10日（敵身研究室—AI-Sim）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制が必要
- マルチエージェントモデルに多少の SEIR 構造追加
- 人流データ・ワクチン接種考慮

8月10日（栗原研究室—AI-Sim）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制が必要
- マルチエージェントモデル
- 人流データ・ワクチン接種考慮

8月10日（藤井仲田研究室—AI-Sim）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制は必要ない
- 医療逼迫による人々の自主的なリスク回避を想定したシナリオ
 - 根拠：様々な研究が「医療逼迫による人々の自主的なリスク回避」の存在を示唆

8月11日（西浦研究室—AB）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制が必要
- 実効再生産数の時系列モデル？
- 人流データ考慮・ワクチン接種考慮せず

8月15日（平田—AI-Sim）

- 8月後半感染減少のためには追加人流抑制は必要ない
- 機械学習モデル
- 人流データ・ワクチン接種考慮